

B2階

(中学生から一般向け)

新旧写真測量体験

環境科学メジャー(景観生態学研究室)

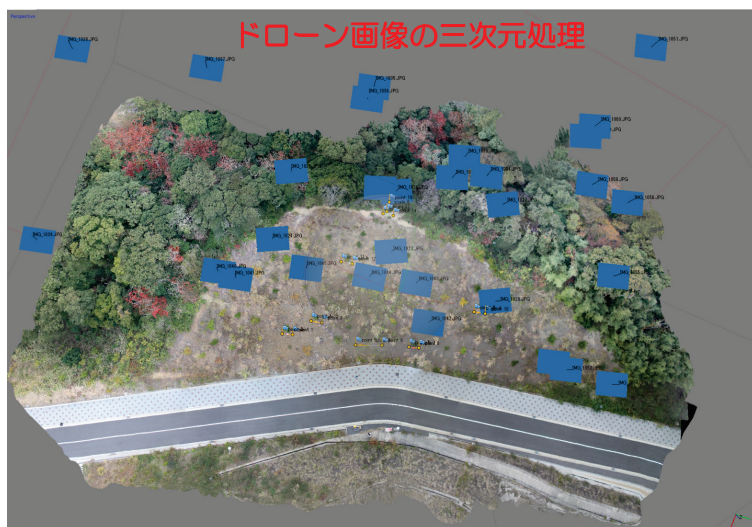
B棟2階エレベータ前・13:00～16:00

飛行機によって撮られた航空写真は、測量・地形図作製の基本情報として重要です。

撮影角度の少し異なる二枚の写真を、実体視鏡で見ることによって、建物の高さや地形の高低差が分かる三次元イメージとしてとらえることができます。

最近ではドローンで撮影した多写真から三次元地図をPCで自動生成することもできます。

戦後すぐの和歌山の航空写真や、和歌山大学栄谷キャンパスができる前の山麓の航空写真、最近本学部の実習でも活用しているドローンによるキャンパス植生の空中写真を、マニュアル・デジタルで実体視して写真測量を体感してみましょう。



参考：本学部の植生調査実習風景（今回はドローン自体のデモは行いませんが機材は展示します）